

累計4,000本の“読まれる法則”を分析学習。関係人口を創出する地域のAI編集パートナー「Nativ.デスク」12月提供開始

自治体のプロモーションに特化したAIツールで、発信の「量」と「質」両面の改善に貢献



地域情報プラットフォーム「まいぷれ」を運営し、地域活性化ソリューションを提供する株式会社フューチャーリンクネットワーク（本社：千葉県船橋市、代表取締役：石井丈晴、以下FLN）は、地方移住・関係人口創出のプラットフォーム「Nativ.media（ネイティブ.メディア）」専用の記事作成支援AIツール「Nativ.デスク」を、2025年12月より順次提供開始いたします。

Nativ.media公式サイト ► <https://nativ.media/>

本ツールは、これまでに「Nativ.media」で公開された累計4,000本以上の地方創生・関係人口関連の記事データを活用。

その中から特に読者反応が高かった記事の「構成」や「表現」の特徴をAIが分析・習得しています。

「Nativ.チャンネル」を利用する自治体やまちづくり会社は、取材音源や資料をアップロードするだけで、都市部のユーザーに響く「反応の出やすい記事」を即座に作成可能となります。



背景：自治体の情報発信のジレンマ

現在、政府が掲げる「地域未来戦略」において、定住人口でも交流人口でもない「関係人口」の創出は、持続可能な地域づくりの要とされています。都市部に住む「関係人口の潜在層」との接点となる情報発信はもちろん、移住促進やシティプロモーションについても、いかに効果的に発信できるかが喫緊の課題です。

しかし、多くの自治体や地域商社・まちづくり会社では、

- ・ 少人数体制で多岐にわたる業務を担当しており、取材・執筆に割ける時間が限られている
- ・ 広報担当者の異動により、記事づくりのノウハウが属人化・分断されがち
- ・ 「どのような記事が都市部の人々に読まれるのか」という知見が蓄積されにくい

といった状況から、情報発信に課題を感じている地域が少なくありません。

FLNは、閲覧者の過半数が大都市圏在住者である「Nativ.media」の運営を通じ、**都市部ユーザーに届く書き方の知見やノウハウを蓄積してきました。**

これらをAIツールに応用することで、現場の負担を下げつつ、プロ品質の発信を可能にする「Nativ.デスク」を開発しました。

「地域のAI編集パートナー Nativ.デスク」3つの特長

1. 累積4,000件以上の記事から導き出した「読まれる文章の型」をAIが学習・再現

単に文章を整える汎用AIとは異なり、地域の情報発信・プロモーションに特化したAIツールです。過去の記事群から、アクセス数や読了率が高かった記事の「構成（ストーリー展開）」や「切り口（見出しの言葉選び）」を分析。

その成功パターンを元に、入力された素材（インタビュー音声、チラシ画像、説明文など）を、都市部ユーザーが関心を持ちやすい文脈へと変換・構成します。

2. 素材を投げるだけでドラフト完成。業務効率を改善

取材時の録音データやメモ、資料画像をアップロードするだけで、AIが以下の工程を一気通貫で行います。

- 音声からの文字起こし
- 重要トピックの抽出と構成案の作成
- 記事本文（ドラフト）の自動生成
- SNS拡散用のタイトル・リード文提案

これにより、自治体職員や地域ライターは「文字起こし」等の作業から解放され、「発信内容の企画」や「地域の人へのインタビュー」といった本質的な業務に集中できます。

3. 独自ツールならではのセキュリティで安心構造

当社の独自開発である当ツールは、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）認定の基盤を採用しております。入力データはAI学習に利用しない等、行政の事業として安心して利用できるセキュリティ水準を担保しています。

■ 想定される活用事例

- **移住・お試し移住レポート:** 移住者のインタビュー音源から、検討者の不安を解消するリアルな記事を作成。
- **地域の求人・副業募集:** 地域側の想いを言語化し、都市部人材が「やってみたい」と感じるストーリーを設計。
- **イベント・プロジェクト公募:** お試し移住ツアーや、関係人口関連のイベントの様子を魅力的に発信し、次回の参加者獲得へ繋げる。

■ 提供スキーム

サービス名	地域のAI編集パートナー「Nativ.デスク」
対象	「Nativ.チャンネル」を利用する自治体、まちづくり会社等
費用	「Nativ.チャンネル」利用者は追加費用なしで利用可能
開始時期	2025年12月より順次提供

※参考：Nativ.チャンネルの利用に関しては、是非こちらの動画セミナーをご参照ください。

<https://nativ.media/88427/>



お問い合わせ・資料請求はこちら

■ 今後の展望

今後は記事作成支援にとどまらず、地域ごとの資源（人・拠点・体験）をデータベース化し、AIが「誰に・何を届けるべきか」という企画立案まで行えるよう機能を拡張します。

FLNは「地域×AI」のトップランナーとして、自治体と地域事業者がワンチームとなって取り組む、持続可能な地域プロモーションの基盤構築を目指します。

■ 開発責任者コメント

「地域の魅力を外に届けるには、熱量を持った発信の継続が不可欠です。しかし現場では『書きたいのに時間がない』というジレンマがありました。

Nativ.デスクは、メディア運営で培った『読まれるための知見』をAIに実装し、そのジレンマを解消するツールです。

煩雑な作業はAIというパートナーに任せ、人が本来注力すべき『地域の魅力の深掘り』に時間を使っていただく。

このツールが、地域と関わる人々との新しい出会いのきっかけを作るツールになることを目指しています」

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社フューチャーリンクネットワーク

関係人口創出事業への問い合わせ：<https://www.futurelink.co.jp/inquiry/>

Nativ.mediaに関するお問い合わせ：<https://nativ.media/contact/>

【株式会社フューチャーリンクネットワークについて】

所在地：千葉県船橋市西船4-19-3 西船成島ビル

代表者：代表取締役 石井丈晴

事業内容：地域情報プラットフォーム「まいぷれ」の運営を軸に、地域の付加価値情報の流通促進を行う。近年は「地域×AI」領域での開発を強化し、持続可能な地域活性化モデルの構築を推進しています。

URL：<https://www.futurelink.co.jp/>

FLNのプレスリリース一覧

https://prttimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/58260